

獣害対策研究

アライグマ被害軽減対策

近年、伊賀地域を中心にアライグマ等の外来生物による農作物(特にブドウ)被害が目立ってきており、様々な被害防止対策を講じる必要があります。

そこで、アライグマの被害が多発する地域における被害実態を調査するとともに、電気柵や箱わなの効率的な設置による防止対策を検討しました。



伊賀地域におけるアライグマ捕獲頭数(2008年)

ブドウ(袋)をねらうアライグマ



袋が破られ、食害された跡

効率的な捕獲方法

防鳥ネット等により果樹園を1m程度の高さに囲い込み、ネットと地面との間からの潜り込みをふせぐために、パイプ等で地面に固定し、園外または入り口1カ所に箱わなを設置すると、効率的にアライグマを捕獲することができます。



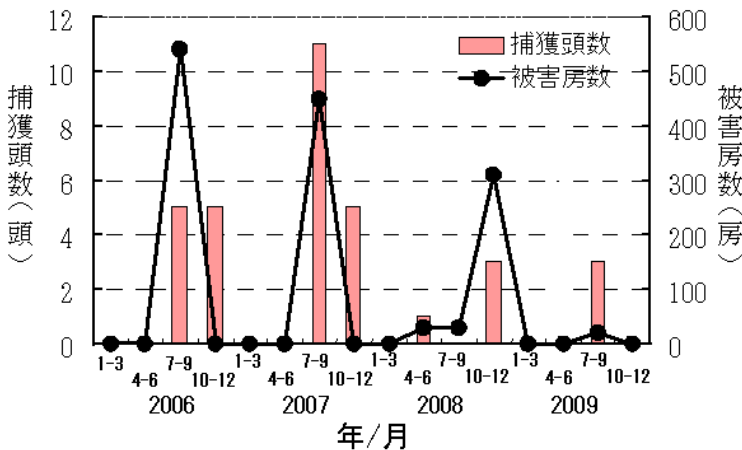
果樹園(加温ハウス)を囲った防鳥ネット



箱わなに捕獲したアライグマ

箱わなに設置する餌は、ブドウ、トウモロコシやトウモロコシが原料のスナック菓子等が適しており、他の獣の誤捕獲もありません。

捕獲による被害軽減効果



捕獲頭数と被害程度の推移(於:伊賀農業研究室、伊賀市森寺)

捕獲を2006年以降継続した結果、被害が徐々に減少し、2009年にはほとんど被害が無くなりました。